

104 号 地域開発みちの会



# みちの会だより

<http://www.aichi-michinokai.com/> 発行責任者 森 紀代美

## ジェンダー平等に関するアンケート調査から提言書提出まで

会長 森 紀代美

- ・調査→意見書をまとめる→さまざまな方法で働きかける。
- ・学び、考えているだけでなく、行動につなげたい。
- ・行動とは→ 行政に働きかける。議員に伝える。予算を取る。数値の改善など

上記は 4/13 の第 1 回全体会の議事録にある今年度の全体事業の構想です。

みちの会の名前に込められた道なき未知の世界を切り開こうと挑んだプロジェクトでした。何をどう進めていくかが非常に難しく、まずはこれをここまで進めてみようと思えば進めてみたら、賛同の和が広がり、愛知県全体でアンケート調査を行い、愛知県知事宛に提言書を出すビッグプロジェクトになりました。それゆえに強行スケジュールになりましたが、愛知県、市町村、地域実践の団体、みちの会、全てにとって得るものが大きくなったと思います。

フォーラムでは、副知事も挨拶に来られ、我々への応援や愛知県のジェンダー平等推進についてのメッセージをいただけるかもしれません。また、議員や行政や我々女性団体・市民がテーブルを囲んでジェンダー平等推進についての意見交換を行う貴重な機会です。今年度のプロジェクトの総仕上げとしてみちの会全員の思いを一つにして行いたいですね。

ジェンダー平等推進にはやるべきことがたくさんあります。当たり前ですが、愛知県知事に提言書を出してフォーラムをやったらゴールではありません。ここからがスタートです。また、方法はいくらかでもあります。これからも躊躇することなく道なき未知のみちを果敢に進んでいきましょう。

## ◆ 新しい会員紹介 ◆

名古屋市

すぎやま みどり  
杉山 碧 さん



愛知県性被害裁判での無罪判決に驚き裁判傍聴し、#FlowerDemo なごやを主催しております。当事者の声をつぶさに集め、わたしたちの弱点を補うべく、世論へ問う活動を通し男女平等社会の実現を目指します。

森さんには毎月そこに協力頂き、鶴の恩返しならぬみどり碧の恩返しをするためにみちの会に参加させていただきました、よろしくお願いいたします。

# ◆ 学習会 ◆

第1回学習会 9月6日

「上野千鶴子氏講演会映像を視聴して」

4グループに分かれて「私たちは何ができるか」を話し合い、付箋に書き込んだものをB紙に貼り、代表者が発表する、ということを行いました。

短い時間でしたが皆さんのすばらしい集中力と意欲で熱気あふれる学習会でした。

上野先生の講演から、あらためて、「変えていかねば」「声をあげよう」「連帯しよう」「次世代に繋げよう」と意を強くすることができました。

グループワークの中から一つ意見を紹介します。

## ●「もの言う女」になる

性差別をなくすためには、「もの言う女」、「わきまえない女」として主体的に声を上げることが起点。そのためには、女性が抱える困難さを言語化・理論化して「見える化」する作業が必要であり、それを支える調査（データ収集、ファクトチェック、エビデンスづくり）も行わなければならない。ものが言える社会は、遠慮や忖度なく「助けて!」と言える社会。そんなビジョンを持って行動しよう。



第2回学習会公開事業 11月22日

減災と男女共同参画研修推進センター共同代表

浅野幸子さんと考える

避難生活で命と健康を

本当に守れますか？

～女性・子ども・高齢者・障がい者などの視点から～



これまでの大規模災害の状況から、避難生活における困りごとを解決するには、女性を含めた様々な立場の参画が必要であることを資料を提示しながら講演いただきました。これからの災害とジェンダーに関する自治体や地域の取り組み方についても話していただきました。

浅野先生の講演を聞いてアンケートの中から参加してよかった事を二つ紹介します。

- 他地区の女性が活躍している様子が参考になった。女性が意思決定の場にいることが大事なことだと思います。資料が多く、わかりやすかった。
- 具体的な事が聞けて良かったです。そして、ポイントは女性がリーダーになることを知ってよかった。



## ◆ 3つのプロジェクト事業 ◆

### ①SDGs と私たちⅣ ～女性と平和～

○ノーベル賞作家 スヴェトラナ・アレクシェーヴィチ  
「戦争は女の顔をしていない」を読んで感想を話しあった。

ナターシャ・グジー

○講演会「ウクライナを知ろう」 講師 川口・リュドミラ 〈参加〉

○映画 「戦争と女の顔」 〈観賞〉

○コンサート ウクライナの歌姫 ～ナターシャ・グジー～ 〈観賞〉

今後の予定

○講演会「戦争と女性」—中東・ウクライナの取材映像と講演—  
講師 玉本英子氏 (映像ジャーナリスト)



### ②「男女平等参画基本計画」を読み込む

○～男女共同参画社会の実現をめざして～

市政出前トーク講座

講師 中林万紀子氏 (名古屋市男女平等参画推進室 主査)

### ③日本女性会議2022 in 鳥取くらよしに参加して！

吉見 久恵

今年の日本女性会議には油田さん、森さん、外山さん、中村さんと私 吉見の5名で参加。  
10月28日朝6時36分発の新幹線で名古屋駅を出発。倉吉にはお昼前に到着。駅周辺で昼食を済ませシャトルバスで会場に。12時半からの前半は1,SDGs 2,性の権利と健康 3,IKIGAI(いきがい)の3分科会。

このうち分科会2に参加。今の性教育に対する課題から今後の取り組みについての講演会とパネルディスカッション。緊急避妊薬を「もしも」のときのおまもりとして自分のからだ、相手のからだ、そして人生を守る選択肢とすることを講師の遠見才希子産婦人科医が紹介されました。望まない妊娠で生まれたばかりの子の命を奪ってしまう若いママたちも、この「おまもり」のことを知っていればと。吉見久恵知ることの大切さを感じました。

後半の分科会、29日の開会式、基調報告、特別講演記念シンポジウムに参加。その後、玉造温泉で身体と心を癒し、翌日は松江と楽しんできました。

次回は2025年 奈良県橿原市での開催。  
なぜか2年後の開催となりますが近場です。  
皆様、ご一緒に参加しませんか？



## ◆ 櫻井 雅美 議員紹介 ◆

愛知県武豊町議会議員

1971 年生まれ

2015 年より 2 期目



### 女性議員が増えない現状

武豊町は人口約 43,000 人、年間出生数は約 300 人。人口は自然減、社会減となり、人口は減る一方となりました。議員は定数 16 名で女性は 3 名。女性が 30%を超えるためには 5 名の女性議員が必要ですが、目標というより夢に近いのが現実です。

さて、女性議員が増えない理由はたくさんあると思いますが、大きな要因の一つは「女性議員＝強い女性」というバイアスではないでしょうか。ハラスメントくらいうまくやり過ぎず、屈強なメンタルを持ち合わせていると思われる方も多いと思います。これでは候補の時点でかなりハードルが高くなります。実際、現場でそれなりの仕事をしようとするれば、パワハラ、セクハラ、モラハラ…この屈強なメンタルは必要となるのが現状です。これはもう風土の問題でもあり、議会の中だけではなく、特に選挙になれば有権者からのハラスメントもひどいものです。これは男女関係なく、議員になら何も言ってもいいと思っているのかと思うくらいひどい言葉を投げつける人がいます。1 期目の時は子どもが小学生だったこともあり、女性から「自分の子どもをほおって何が子育て支援だ」と言われたこともあります。

もう一つ全く異なる視点での要因として「市民団体代表と利益相反」があります。私は NPO 法人の代表をしながら議員活動をしてきました。もともと地域の子育て支援の充実と男女共同参画の啓発を目標に活動をしていました。議員になったのは、市民活動だけでは限界を感じたからです。議員になってから数多くの施策を提案実現でき、これは議員になった一番の功績だと感じています。一方で現場の活動はどんどんやりづらくなりました。地方自治体では議員のなり手不足、市民活動の衰退、どちらも大きな問題です。ここで二者択一を迫られ、議員活動を諦める方も少なくありません。

この二つの大きな問題は個人の問題ではなく、風土であり身近な環境によって起こっている問題です。そもそも女性の候補がない、2 期目 3 期目を断念する女性議員が多い。これでは女性議員は増えません。2023 年 4 月は地方統一選挙です。ぜひみなさんがそれぞれの立場でこの問題に向き合っていただきたいと思います。

《今後の予定》

地域開発みちの会フォーラム

日時: 1 月 22 日(日) 13 時～16 時

場所: 東海市立市民活動センター

～～性差別をなくすために

私たちは行動する～～

《ホームページ》

ご意見お問い合わせはこちらへどうぞ

<http://www.aichi-michinokai.com/>

